

森林ふれあい推進事業（愛称「緑の山歩塾」）

第3回イベント「天然秋田杉を巡る（コブ杉・きみまち杉）」を開催

東北森林管理局では、国民の皆さんが森林の中で自然と親しみ、遊び、学ぶ喜びを味わうことのできるよう、森林ふれあい推進事業（愛称「緑の山歩塾」）を実施しております。

今回は8月21日（金）に行われた第3回イベント「天然秋田杉を巡る（コブ杉・きみまち杉）」（参加者：30名）について、同行取材しましたので紹介いたします。

7：00

集合場所の秋田駅東口、あいにくの雨模様・・・参加者も少々不安な表情でした。

天然杉目指して一路能代市へ、移動中の高速道路でも前が見えないほどの雨・・・局スタッフからは、日程の変更を検討する声も。

9：20

仁鮎水沢スギ植物群落保護林駐車場へ到着、この頃には雨も小降りとなり、ようやくホッとした様子の参加者、バスから降り開会式を行い、樹齢200年以上の天然秋田杉が群立する保護林内へ出発、その先には、林野庁が選定した森の巨人たち100選にも選ばれた「きみまち杉」が。



心配された雨も保護林駐車場へ着くと止み、スタッフ一同ひと安心。開催に当たり挨拶をする高橋指導普及課長。



保護林内は高さ50mを超える天然秋田杉の巨木がたくさんありました。

10:20

高さが58mもある日本一の杉「きみまち杉」へ到着、各班毎に記念写真を撮りました、参加者からは「すごい!」「素晴らしい!」などの声。



日本一の杉「きみまち杉」へ到着、下から見上げる姿は大迫力です



きみまち杉をバックに記念写真

11:45

天然秋田スギを巡る旅は上小阿仁村へ移動、上大内沢自然観察教育林へ、ここは長年にわたり建築材や家具等、高品質の天然秋田杉を供給してきた流域ですが、現在は希少になった天然秋田杉を保存し、国民の憩いの場、小・中学生等の自然観察の場になっております。

ここにも林野庁が選定した森の巨人たち100選がありました。「コブ杉」ですこのコブ杉は、回りの優美な杉とは別にこの1本だけ大人の背丈ほどのところがコブ状に盛り上がって独特な風貌を呈しており、地元では古くから「御神木」として崇められています。今度は参加者から「何これ!」「不思議だ!」などの声が上がりました。



美しい天然秋田杉林内を散策



村のシンボルでもあり、学術的にも貴重なコブ杉



コブ杉をバックに記念写真。

14:00

午後からは、まず丸太の流通拠点である「協同組合秋田県銘木センター」を見学、天然秋田杉ならではの柱や板の建築材、他にもテーブル、衝立などの家具も展示されており、参加者からは「すごい立派な柱だ!」「ここにあるような木で家を建ててみたい」など展示物に見入っていました。



銘木センターに並べられた人工林スギ丸太(国有林材)。



天然秋田杉製品を見学。

15:30

最後に巡ったのは、実際に天然秋田杉をふんだんに使用した建物「料亭(旧)金勇」を見学、創業が明治23年で現在の建物は昭和12年に改築されたもので、木都能代を象徴する建物として、71年余りの年月を刻んできました。昨年市民に惜しまれながらも閉店、現在は能代市が管理し市民の財産として後世に引き継いでいくこととなっております。

参加者からは、「名前は聞いたことがあり一度見たかった」「素晴らしい建物だ」など天井や柱など、管理人の説明を聞くたびにどよめきが上がっていました。



旧金勇全景(現在は能代市の財産として管理)



2階には110畳もある大広間

今回のイベントでは、参加者の皆さんに、趣の異なる天然秋田杉での森林浴を楽しんでいただくとともに、天然秋田杉の材質の美しさ等についても実感していただきました。同時に、東北森林管理局においては、貴重な天然秋田杉の保全に努めつつ、文化財等の材料等となる天然秋田杉の計画的な供給や、代替えとなるスギ材の造成に取り組んでいることへの参加者の皆さんの理解が深まったイベントになったのではないかと感じました。

次回の緑の山歩塾は「紅葉の栗駒山・秣岳縦走」と題し、東北一紅葉がきれいと言われる栗駒山から秣岳で紅葉狩りを行います、沢山の参加をお待ちしております。